第一類（機械・輸送・材料・エネルギー系）

１．主専攻プログラム及び配属

　　第一類（機械・輸送・材料・エネルギー系）では，以下の4つの主専攻プログラムを設けています。

(1)　機械システムプログラム

(2)　輸送システムプログラム

(3)　材料加工プログラム

(4)　エネルギー変換プログラム

各主専攻プログラムへは，2年次後期のはじめに，本人の希望と成績を考慮して配属されます。

２．履修基準表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| プログラム名 | | 機械システムプログラム | 輸送システムプログラム | 材料加工プログラム | エネルギー変換プログラム |
| 専門基礎科目 | 第一群  ※ | 必修科目の全単位(13単位)，選択必修科目を含めて計14単位以上 | 必修科目の全単位(13単位) | 必修科目の全単位(13単位)，選択必修科目を含めて計14単位以上 | 必修科目の全単位(13単位)，選択必修科目を含めて計14単位以上 |
| 第二群  ※ | 必修科目の全単位(15単位) | 必修科目の全単位(15単位) | 必修科目の全単位(15単位) | 必修科目の全単位(15単位) |
| 専門科目 | | 必修科目（卒業論文5単位を含む）19単位，選択必修科目のうちから24単位以上を含めて計49単位以上 | 必修科目（卒業論文5単位を含む）25単位，選択必修科目のうちから24単位以上を含めて計50単位以上 | 必修科目（卒業論文5単位を含む）19単位，選択必修科目のうちから22単位以上を含めて計49単位以上 | 必修科目（卒業論文5単位を含む）21単位，選択必修科目のうちから20単位以上を含めて計49単位以上 |
| 計 | | 78単位以上 | 78単位以上 | 78単位以上 | 78単位以上 |

専門科目として次の科目を履修することができます。これらの修得単位は，卒業要件単位に含めることができます。

・所属プログラムの自由選択科目

・所属プログラム以外の第一類専門科目

・他類の専門基礎科目と専門科目

・工学部共通科目

※第一群，第二群に分類される授業科目は別表「第一類専門基礎科目」を参照すること。

３．卒業論文着手要件

　卒業予定年度のはじめに，次の条件を満たしていること。

(1)　教養教育科目43単位以上を修得していること。

(2)　専門基礎科目第一群のうち，10単位以上(輸送システムプログラムは8単位以上)を修得していること。

(3)　設計製図，ＣＡＤ，工作実習の全必修単位を修得していること。

(4)　機械工学実験，機械創成実習の単位を修得していること（輸送システムプログラムを除く）。

(5)　輸送システムプログラムについては，輸送システム工学実験・解析法，船舶設計法とその実習，輸送システム工学プロジェクトの全必修単位を修得していること。

(6)　専門基礎科目第二群の必修単位数15単位のうち，11単位(輸送システムプログラムは12単位)以上を修得していること。

(7)　専門基礎科目及び専門科目の修得単位数の合計が68単位以上であること。

４．卒業要件

次の単位を修得していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| プログラム名 | 機械システム  プログラム | 輸送システム  プログラム | 材料加工  プログラム | エネルギー変換  プログラム |
| 専門教育科目の卒業要件単位数(卒業論文5単位を含む。) | 78単位 | 78単位 | 78単位 | 78単位 |
| 卒業要件単位数(教養教育科目46単位を含む。) | 124単位 | 124単位 | 124単位 | 124単位 |

　注：卒業論文の論文試験に合格するためには，3年次以降に受験した英語能力に関する検定試験において，下記のいずれかを満たしている必要がある。

TOEIC®Listening & Reading テスト（TOEIC®Listening & Reading-IP テストを含む。）450 点以上, TOEFL-iBT® 46 点以上, 広島大学が実施するTOEFL-ITP® テスト453点以上のいずれかを達成, 又は技術英検 2 級（CBTを含む）に合格。